

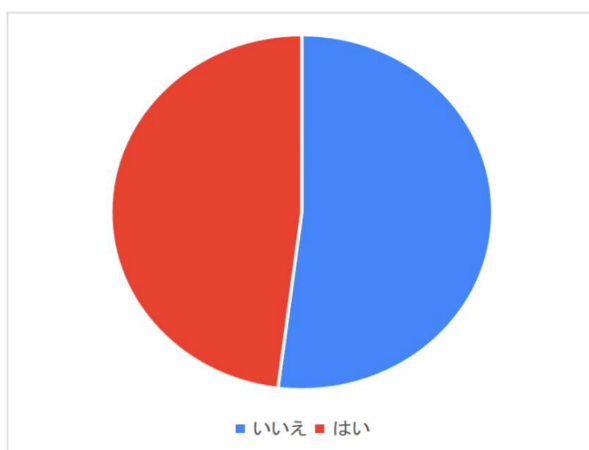
第4章 事業検証

4-1 各種アンケート

本年度は事業開始後の7月と事業終了前の2月にテレワーカーへアンケートを実施した。

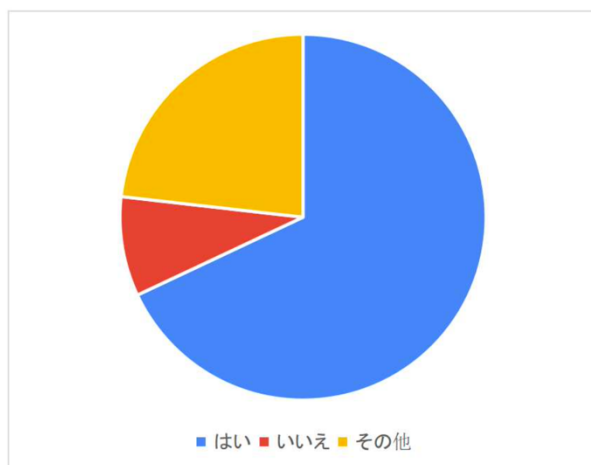
7月時点アンケート結果

Q1 もう既にテレワーク業務に就きましたか？



現時点では、半数がまだ仕事を行っていない状況である。

Q2 テレワークという就業形態は気に入っていますか？

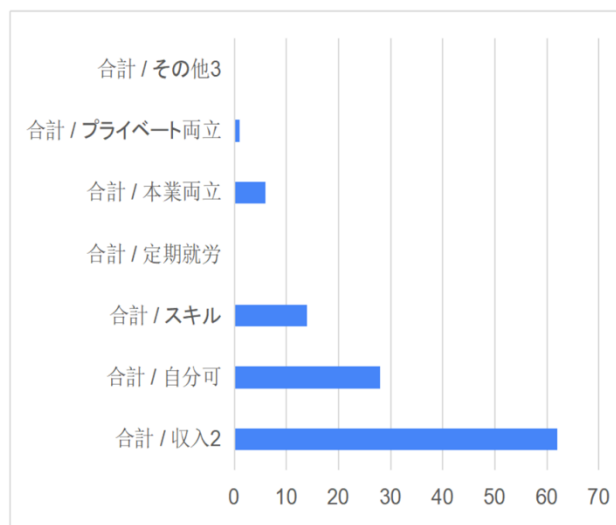


気に入っているという回答がほとんどである。その他の多くは未就労のため判断できないというのがほとんどであった。

【その他コメント】

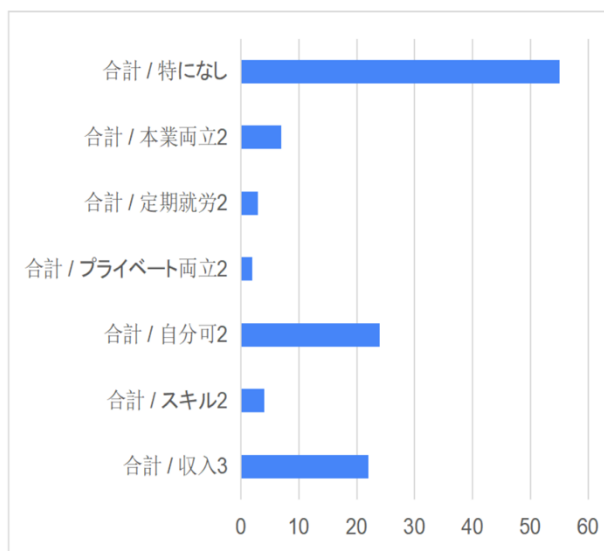
- ・うまくは行ってないけど、気に入ってはいる
- ・なかなか慣れなくてちょっと苦戦している
- ・まだやってないので実際のところはよくわからないが予想では気に入ると思います。
- ・まだ仕事をしていないのでわかりませんが、自分に合う形態だと感じています。
- ・現状あまり時間がとれていません。
- ・仕事量と内容、金額によってまちまちです。金額によっては時間ばかりかかるので。
- ・本業との両立は難しい時があります。

Q3 テレワーク就業前の不安はありましたか？



就労前の不安要素としては、働きに見合った報酬が得られるか？というものが多く、次に、自分でも可能か？という漠然たる不安や自分のスキルでできるのか？という不安が多くを占め、本業を持っている者が料率できるかどうかという不安が見受けられた。

Q4 就業後解消された不安はありますか？



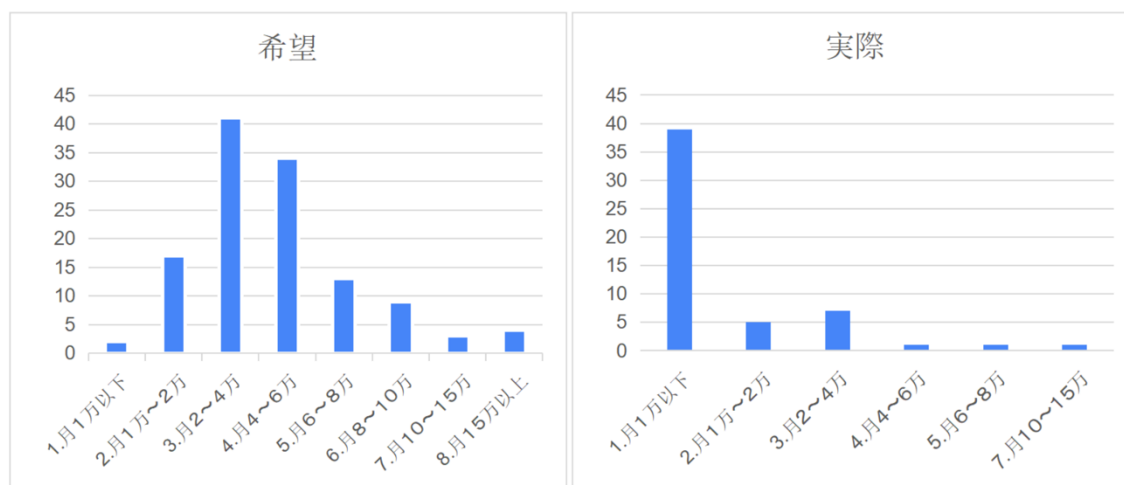
実際、体験してみると自分でも可能かとい漠然たる不安はほぼ解消されている。一方、収入面については半数程度が不安や不満を持っているということが見受けられる。

Q5 不安が解消されなかった理由（自由記載）

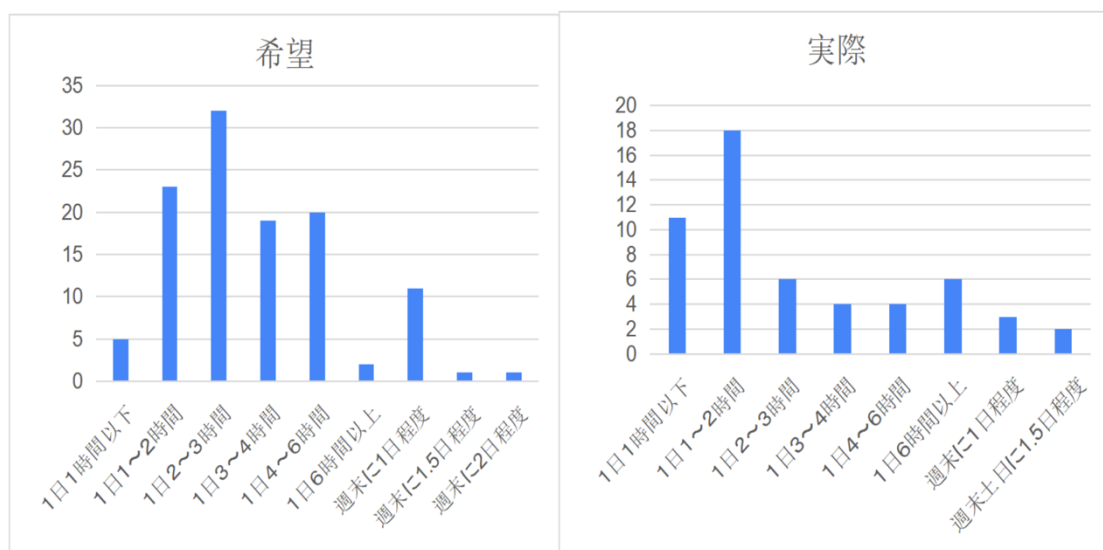
PCに不慣れとか…
 いつまでもテスト期間。
 スキル不足
 テレワークのため、顧客ニーズの把握や、意思疎通がしにくい事。
 まだロジカルシンキングや接続詞の使い方などの初歩的な事を独学で勉強している段階で、何ができて何ができていないのかも分からない状態です。そのため「自分でも働けるのかどうか」という長期的な判断をする材料がそろわず、不安も解消されていません。
 音声アノテーションの単価は良かったですが、webライターはかかった時間を考えると続けるのは難しく思いました。（文章を書くのは楽しいですが、何分、遅くて）
 現時点ではまださほど業務を行っていないため、収入については判断できない
 講習会全日程を終了出来なかった。レンタルパソコンではじめてが有料で良かったので終了迄パソコン貸し出しをしてほしかった。
 仕事の内容によっては、事前の講習を受けないとできないものもあること。
 単価が安く、またコンスタントに仕事が出来ないのでなかなか収入にならないこと。（アノテーション）"
 思っていたより仕事が少なかった
 時間が取れず、思うように収入が得られなかった。
 時間をうまく見つけられないので研修に参加出来ていない、自分に合った仕事がないと思う
 自身のスキル不足
 収入は労働時間には見合っていないと感じた
 新しいパソコンを買ったが元が取れるような仕事がなかった
 登録人数に対して仕事の種類が少ないかなと思います。
 本業、プライベートとのバランスを模索中で、まだテレワークを楽しみながら取り組めていない。
 本業の30周年という記念日のため、忙しすぎて全くテレワークに参加できなかったため。メールを読み込む精神的余裕さえなかったです。
 余暇は休息と自分の時間に使ったため。
 両立と言えるほど、うまく時間を仕事に当てられていないため（時間調整がなかなかまだうまくできない）。まだこなした案件が少ないため。

Q6 テレワークに期待する報酬と実際の報酬は？

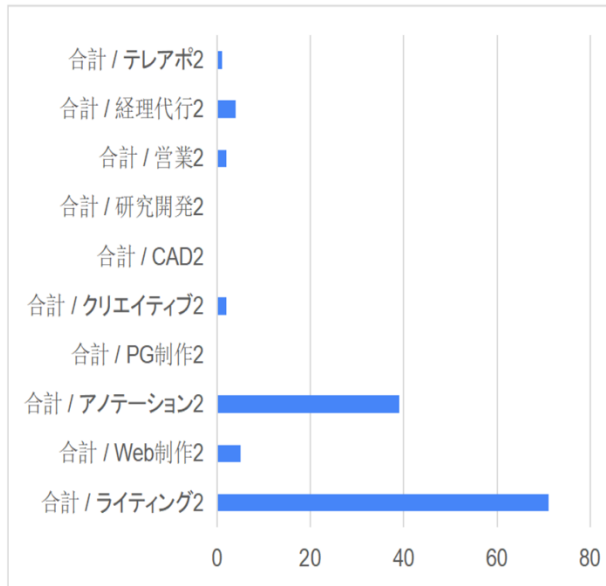
月2万円～6万円の収入を希望する者が多いが、実際の収入は、月1万円以下というのが多数を占める。しかし月10万円以上を達成する者もいる



Q7 希望した就業時間と実際の就業時間は？

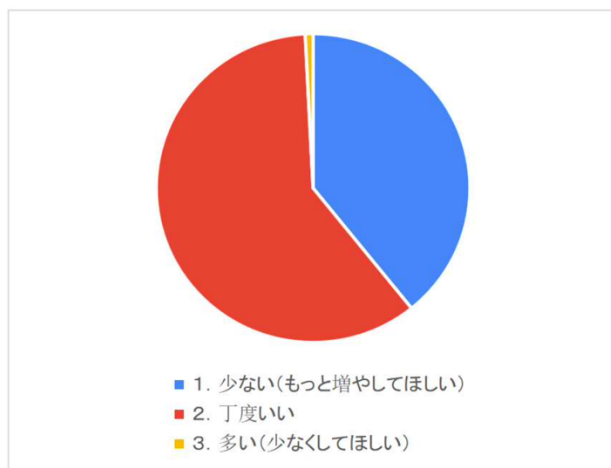


Q8 やりたい仕事のジャンルは？



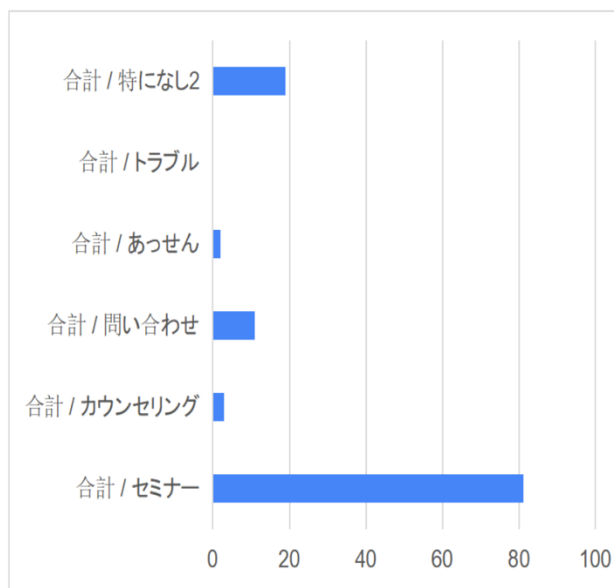
やりたい仕事もライティングとアノテーションが多くを占め、取り組みやすさという点で希望が多いものと考えられる。しかし、Web制作やクリエイティブ系のスキルを活かした作業に従事したいという希望がわずかにみられる。

Q9 受講したいセミナーの数は充分だったか？



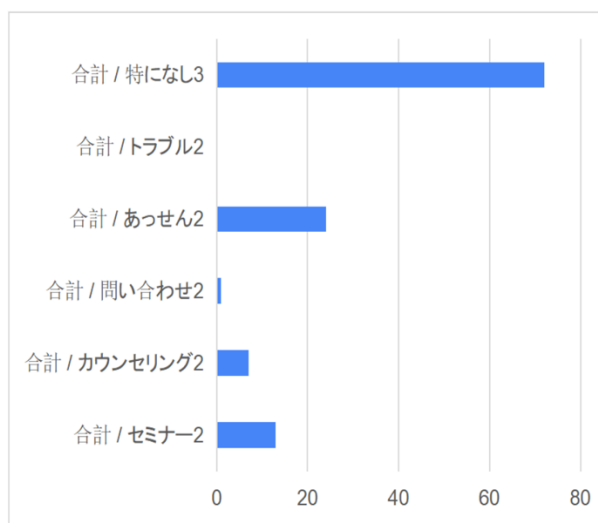
仕事前セミナーについては、ちょうどいいという回答が多くを占めたが、まだ少ない増やしてほしいという回答も多かった。後出の要望等とあわせて分析すると、時間的に受けられなかった又は所定のセミナーでは理解が十分できなかったというのがある。時間的制約については、動画等で自由に視聴できるような工夫(実施済み)やスキルを細分化しテーマ別にフォローアップセミナーを設けることも必要かもしれません。

Q10 本事業の支援で約に立ったものは？



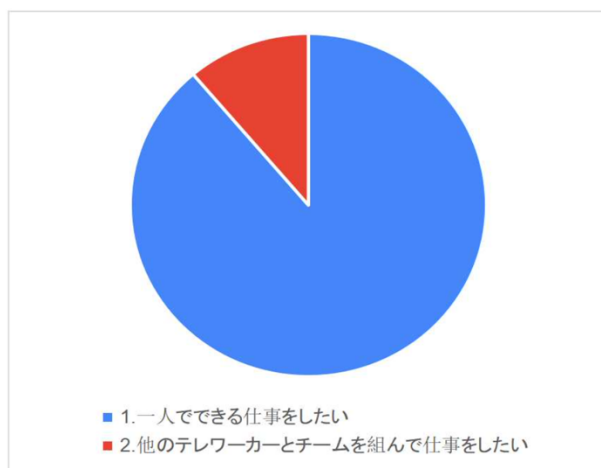
本事業でおこなう支援としては、セミナーが役に立ったという評価が多かった。

Q11 本事業の支援でまだ足りないと思うものは？



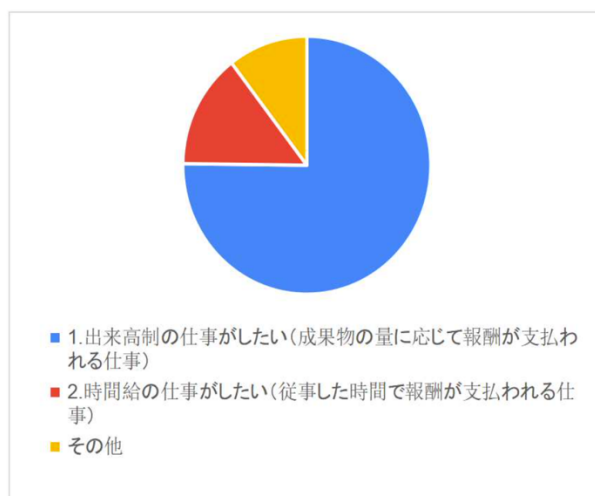
今後要望する支援メニューとしては、特に必要ないとするものが多いが、本事業の主要業務である「あっせん」を望むものが見られる。個別カウンセリングも希望する者も一定数存在する。

Q12 ひとりとチームどちらの仕事が良いか？



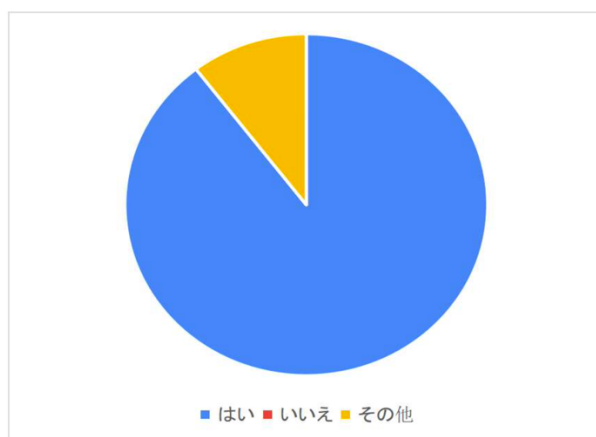
ほとんどの登録者が、一人でできる仕事を希望している。

Q13 希望する報酬形態は？



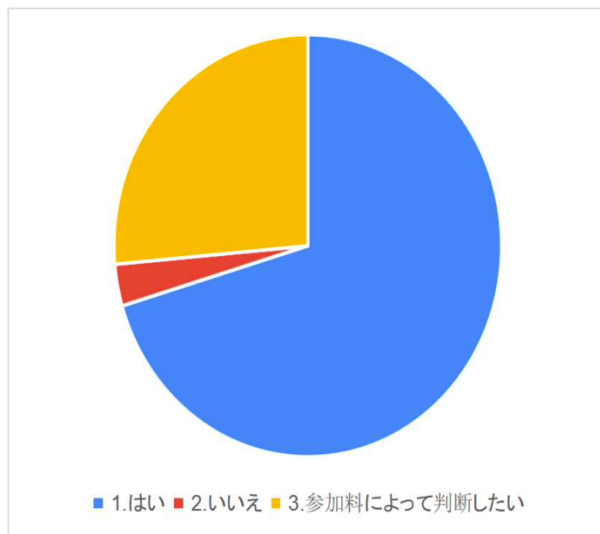
前出のアンケートで、就労できる時間が限られている。又は柔軟な就労を希望していることから、出来高制の仕事を希望する者が多い。しかし、一部には時間給の仕事を希望する者も存在する。
その他の回答には、どちらでもよい。内容によって判断する。との回答が多かった。

Q14 テレワークを続けたいか？



登録者の全員が、継続したいという回答を行っている。その他の意見については、ほとんどが、未就労のため判断できないとの回答である。1名のみ、「時給換算の効率で検討したい」という回答があった。

Q15 スキルアップ研修等があれば参加したいですか？



登録者のほとんどが、スキルアップを希望しているとしている。うち、4分の1がそのための研修費用によって受講するか判断したいとしている。

Q16 まだ就業していない方の要望（自由記載）

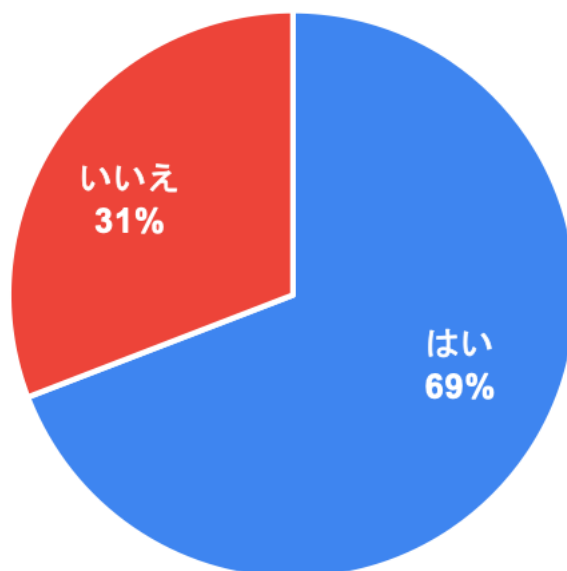
- ・お仕事の種類が増えると良いかなと思います。
- ・ぜひたくさんのお仕事に、参加できればと考えています。自己啓発も並行しながらお仕事を進めて参る所存です。
- ・たくさんスキルを身につけて、テレワークの仕事をしてみたい
できる事があればと思っていますが、なかなか入って行けない、学習したことをいかせていない、スキルアップもしたいです。(HTMLやフォトショップ)
- ・パソコン上でできないものがありました。ではそれから外しますねではなく、何かしらできる方向、できる仕事を紹介してほしい。外されたことにより、すぐやる気をなくしてしまいました。"
- ・まだお仕事はさせて頂いておりませんが、チャンスがあれば頑張りたいと思っています。
- 求人一覧(過去から現在までの)があると仕事のイメージが分かりやすい
- ・継続してもらいたい
- ・仕事を増やしてほしいです。＊選択肢が少なすぎる。
- ・受講したい講習が時間や日時で合わない事が多い。出来れば時間や場所にとらわれないweb講習をもっと増やしてほしい。
- ・承認者作業で実施したものをコピーして張るという工程は、もっとスムーズに数値把握できるようにシステム化してほしいです。
- ・新規登録者にとって、今回のようなメッセージが自分も該当しているのかわからない状態だと思います。「新規登録者向け」のレクチャーというか(登録後の流れを明確に)、具体的に関わりを持っていただいてからのスタートはできないものではないでしょうか？けじめのない状態で戸惑っています。動いて良いものやらどうかが不明瞭です。
- ・説明をもっとわかりやすく教えていただきたいです。
例えば専門用語の解説、ライティングでどのように参考にできるものを探したら良いかなど、ライティング初心者でも一人自宅で始められやすいようなトレーニングメニューなど。"
- ・早く仕事に入って行けるように、それまでのセミナーなどの回数・内容密度・速さ・などがあれば嬉しいです。
- ・早く報酬が得られるようにしてほしい。アノテーションの報酬についての案内がない。
- ・報酬は少額でも仕事の合間(10~30分程度)にできるような簡単な仕事のあっせんがあればと思います。
- ・離島にとって外からお金を稼ぐことはとても大事なことで、今後もテレワーク事業を推進してほしい。

Q17 就業している方の要望（自由記載）

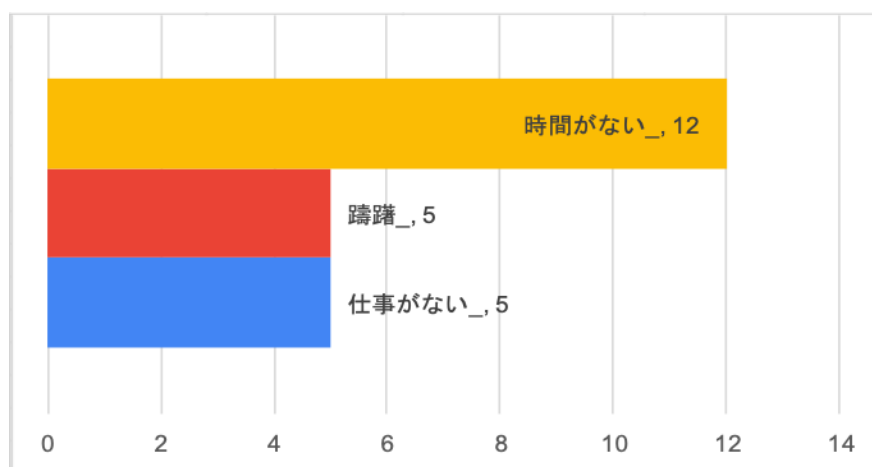
- ・「こんな仕事をしたい」というテレワーカーからの希望を吸い上げる仕組みがほしい。
 - ・1.プラットフォームへの機能統合(案件検索・メッセージ・見積り・契約・納品・検収・支払い)、2.ワーカー人数X目標月収に見合った毎月の案件総数(総額)※400人の平均目標月収が3万円なら、1,200万円/月分の案件が必要ならず。3.契約書の締結
 - ・8月より始まった音声アノテーションの仕事は、ようやく収入が希望額に近づき大変満足しています。家事をしながらちよっと手が空いたときにできるし、何時間でもやっけていられるので、今後もこういった作業に近い仕事があると助かります。
 - ・いろいろのメニューが用意されていて、自由に選べるようであると嬉しいです。
 - ・RPAや動画編集などのスキルを身につけて仕事につなげたい。
 - ・slackのお知らせだけでなく、ホームページなどからも色々な仕事を一覧で閲覧できるようにしてもらおうと思ひたい。
 - ・webデザインなどの講座があれば嬉しいです。
 - ・Web関係:HTML JavaScript PHPなどの研修をしていただけると嬉しいです。
 - ・web関係の仕事を増やして欲しいです。
 - ・サポートの継続を希望します。
 - ・セミナーを行う場合、早めの告知で会場を車いすでも行けるバリアフリーにしてほしい。
 - ・もっといろいろな案件があるとありがたい
 - ・もっと難しくても時給の良い仕事が良い
 - ・安定的な仕事の提供。登録者で仕事の奪い合いあう状況にならないよう願ひます。
 - ・月収入が安定する程度の仕事が良い
 - ・今のところ、内職の要素が強く、キャリアアップには繋がらなそうなので、キャリアアップできるような業種の研修や案内を希望します
 - ・今までコワーキングスペースを使うことができなかったので使いやすい環境になれば積極的に利用したい
 - ・作業単価のよいまたは妥当な仕事をお願いします。あまりに低いとモチベーションが下がり、クオリティも下がります。
 - ・仕事でRPAシナリオ作成しているので、それを活かせる作業があればやってみたい。
 - ・仕事前のオリエンテーションをしっかりやって欲しい。
 - ・納期に余裕を持たせてほしい。
 - ・事業が継続すること。
 - ・事業内容一専門的なものが多く感じる。初心者からでも出来るものを増やしてほしい。
 - ・事務局の方とのやり取りだけでなく、テレワーカー同士も仕事上のやり取り(不明点、アドバイス)を気軽に行えたらいいなと思ひました。
 - ・実務以外でも、例えばスキルアップのためのリモートや離島で開催される研修や講座(プログラミング、Webデザイン等)などあれば紹介・斡旋していただけるといいなと思ひています。
 - ・取材用の名刺作成希望者の募集時に応募が間に合わなかったため、再度行っていただきたいです。
 - ・収入につながるワーク展開がありかたいのと個人ブログなどでさらに収入アップできる共通のワークシェアがあれば助かります。
 - ・週に1度くらいで良いので、事務局から今週の動きのような投稿が欲しいです。
- 例:もうすぐ〇〇の案件についてご案内できそうです。や、プラットフォームの〇〇の案件は今週末が申込み締め切りです。や、募集したものの動きのない案件などの今後の見通し。や、もっと人数的に応募して欲しい案件の再紹介等。
- ・私は経理代行やぐるなびの案件に応募しましたが、今どうなっているのかわからず宙ぶらりんです。なので、知りたいたいと思ひました。"
 - ・新しいスキルを習得できる機会とそのスキルを活かすことのできるお仕事があると嬉しいです。
 - ・全体的な仕事の流れを最初に説明頂けるとありがたいです。
- 例えば、一つの仕事に対してレギュレーションや単価はズームなどでレクチャーして頂いていますが、その仕事がいづまであるのか、納品しただけでOKなのか、訂正作業があるのかなどです。
- ・お仕事プラットフォームに掲載されている内容では詳細がわかりづらいと感じました。
- また、私が情報不足だけなのかもしれませんが、締め切り日、入金日を仕事ごとに明記して頂けるとわかりやすいかと思ひます。
- ・多様な仕事種類から選択できるとありがたい
 - ・単価の高いプロフェッショナルなお仕事を紹介いただけると嬉しいです。
 - ・長く続けていきたいと思ひます。
 - ・新しい業務にも携わってみたいです。・土日のできる仕事のあつせん。

2月時点アンケート結果

Q1 今年度事業でテレワーク業務に参加しましたか？

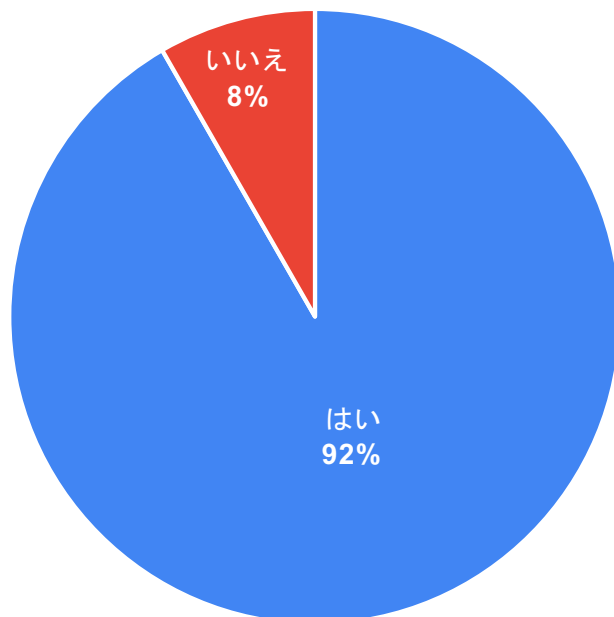


Q2 いいえと回答した方の参加できなかった理由は？



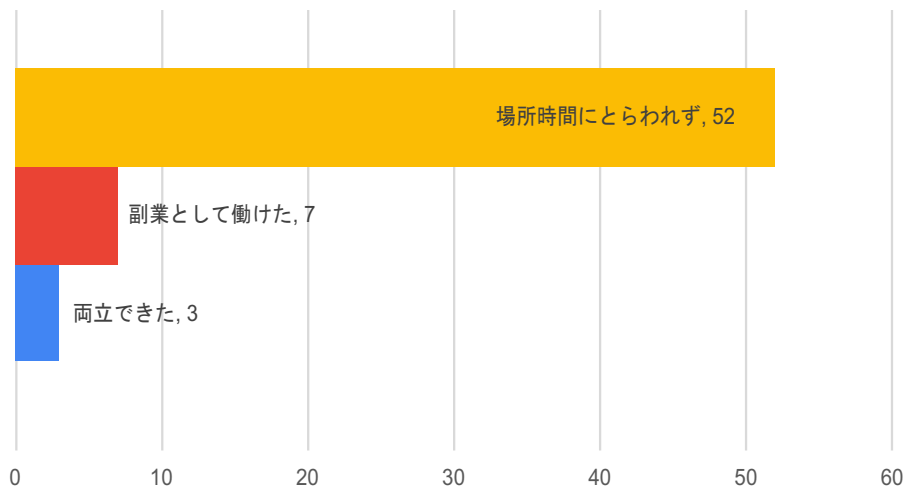
- その他の理由
- まだ研修中である。
 - 応募を申し込んだ案件が修了していた。
 - 時間が空いたときに参加する予定（今は忙しい）

Q3 テレワークという働き方は気に入りましたか？



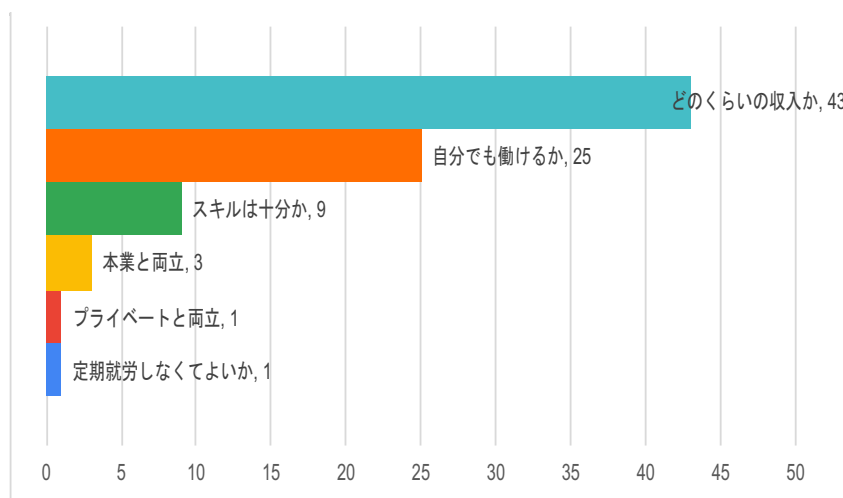
いいえという回答にはまだわからないという答えも入る。

Q4 働いてみていかがでしたか？

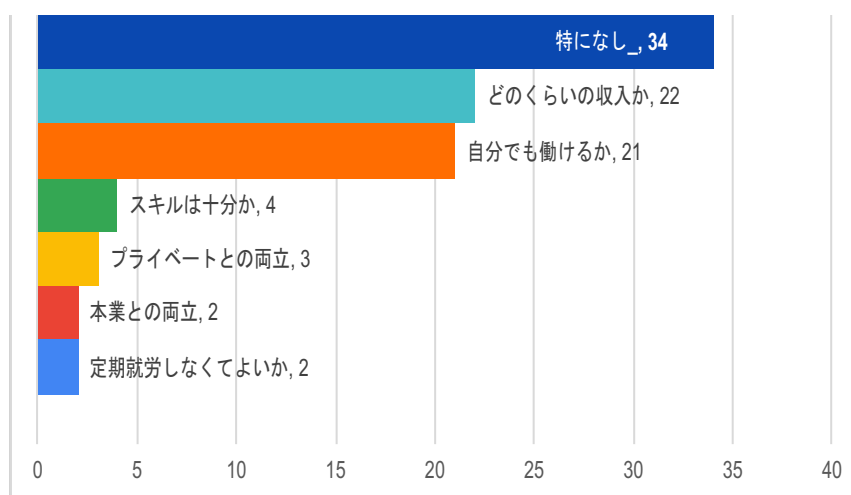


離島テレワーカーはフルタイム就業が現状困難な層が多いため場所時間にとらわれない働き方が最も支持されている。

Q5 就労前の不安について



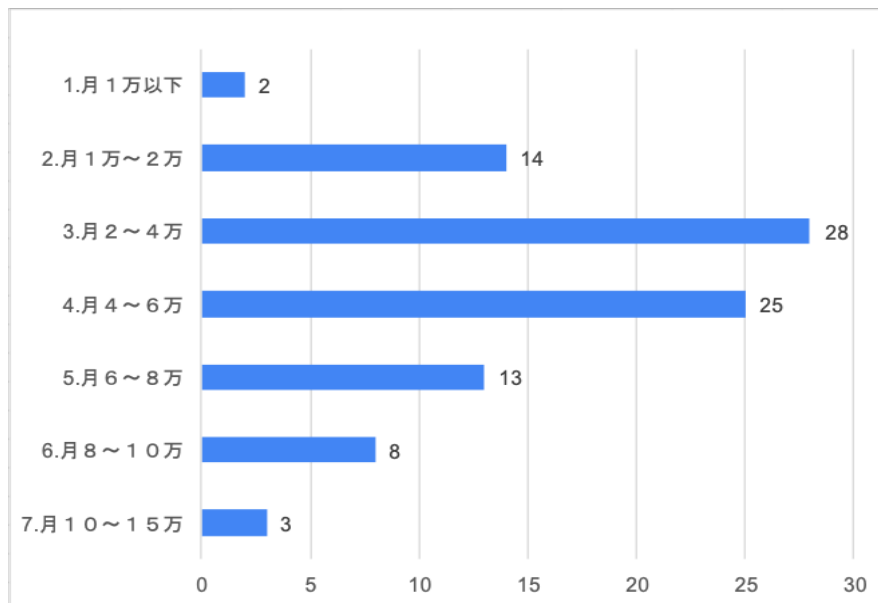
Q6 就労後解消した不安は？



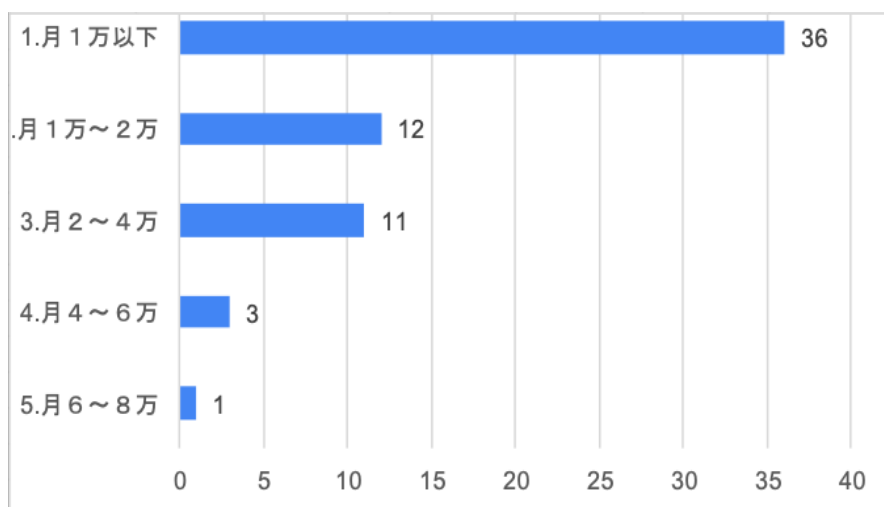
Q7 未解消の不安は？（自由記載）

- ・スキル不足（3名）
- ・テレワークのお仕事案件がない時期があった
- ・まだ、仕事を始めていないから（8名）
- ・まだ自力で出来ていないことが多々あると痛感します
- ・もっと多い収入を期待しますが、規定の支払額に加え、自身の注ぎ込んだ就労時間が十分でないとの自覚があります
- ・仕事内容がそれなりの経験が必要とするものが多く感じる。なので選べる仕事が少ない(私的に)
- ・自前のパソコンがなかった。研修時間の不足で出来なかった、本業が忙しい時期や夜間の作業だと、終わっている事があった。
- ・初めて扱うソフトやサイトに慣れるまでに時間がかかってしまうため。
- ・提出期限までのスケジュールなどが管理できなかったため。（月末に期限が迫り慌ててしまった）
- ・副業として取り組んでいますが、期待していたほどの副収入は得られない

Q8 期待する収入は？



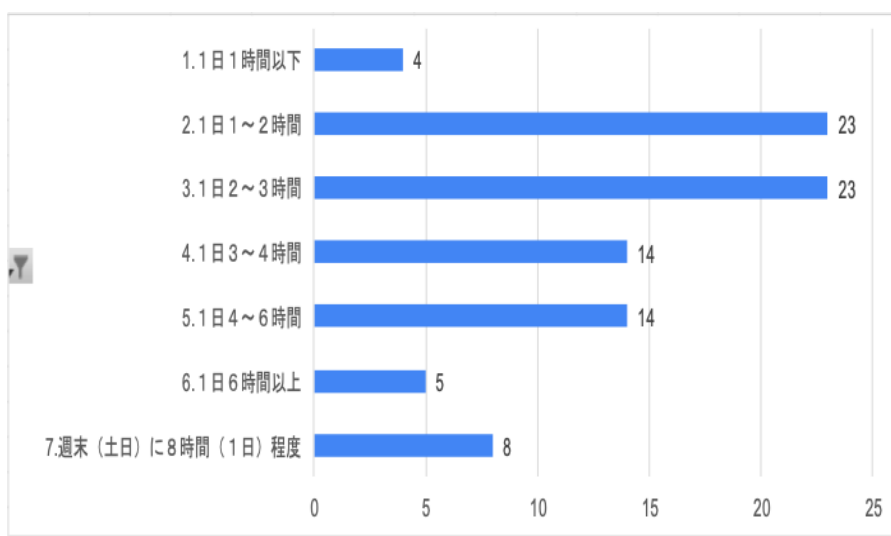
Q9 実際の収入は？



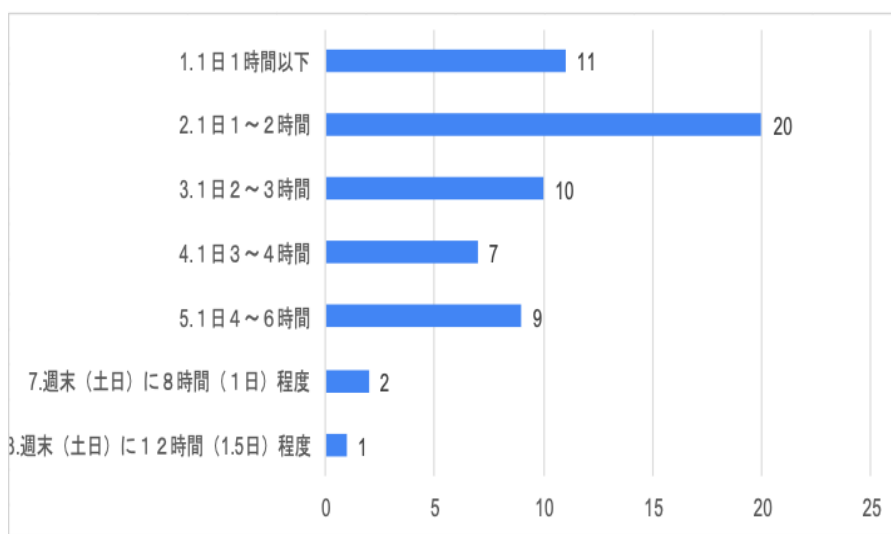
※注 アンケート回答者数と実績値は異なる

単価が低いB層業務の従事が多いため、得たい報酬と実際の報酬にギャップがある。単価を上げるためのスキル取得をマインドセットとともに実施する必要がある。

Q10 希望する就業時間

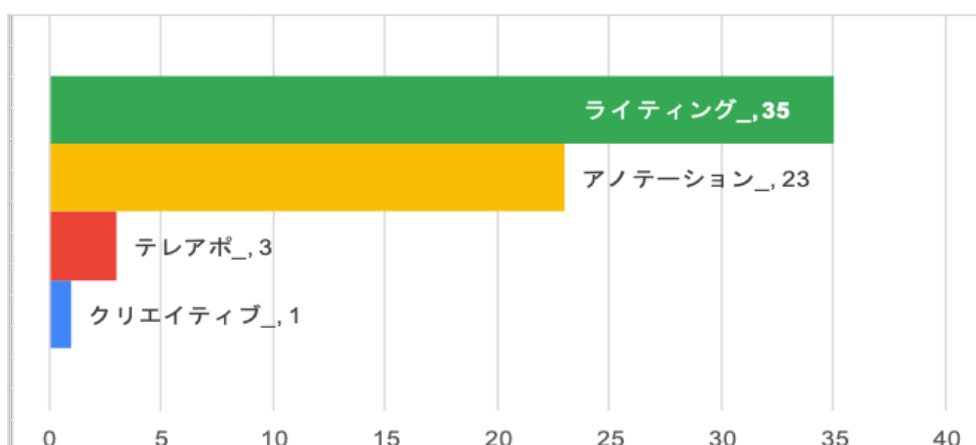


Q11 実際の就業時間

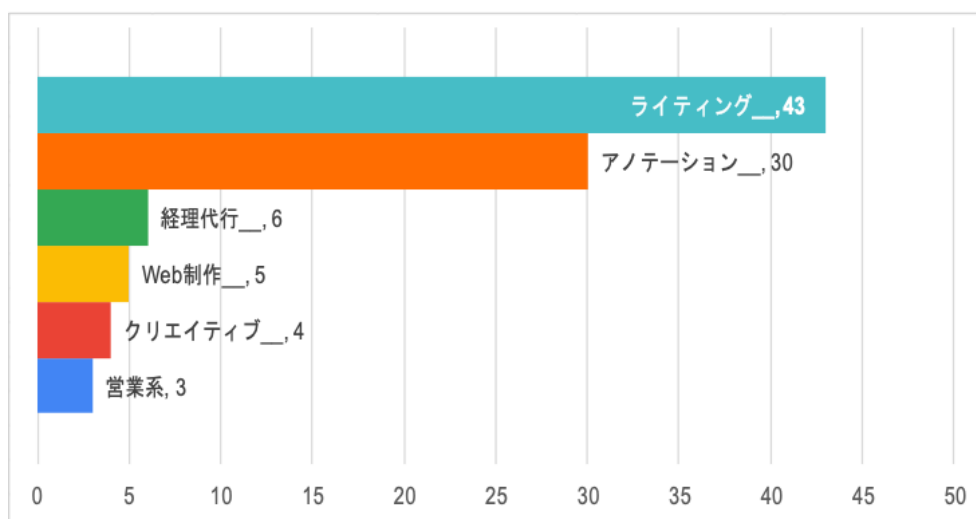


希望する時間と実際就業している時間は1時間～3時間が最も多い。
本業の空いた時間に就労を充てていることが多いと思われる。

Q12 従事した仕事は？

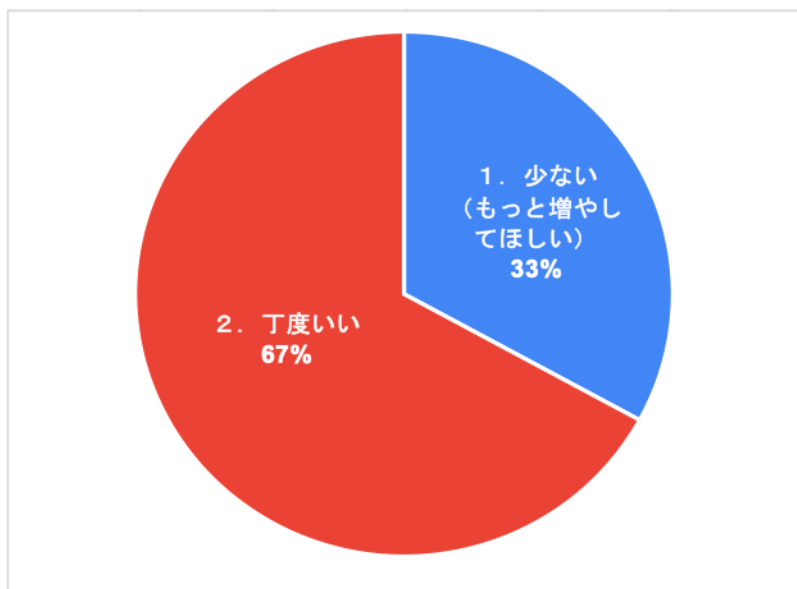


Q13 今後参加したい業務ジャンルは？

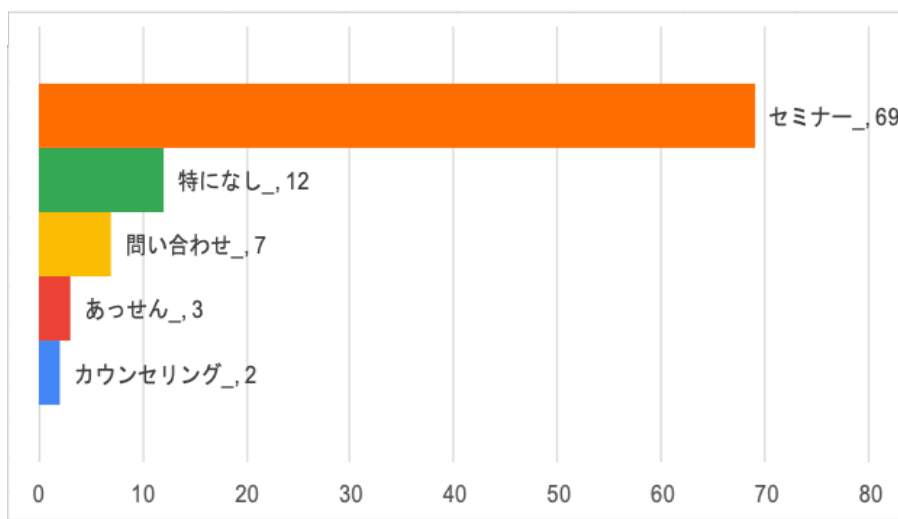


参加したいジャンルで最も多いのが Web ライティングだが、現実的には時間の関係で参加できていない層が多い。消極的 B 層のスキル取得について、例えば研修や講座に対してもなにかしらのインセンティブを与える等、学ぶこと、単価を上げるための訓練を継続するモチベーションを高める施策が必要である。

Q14 セミナーの回数について



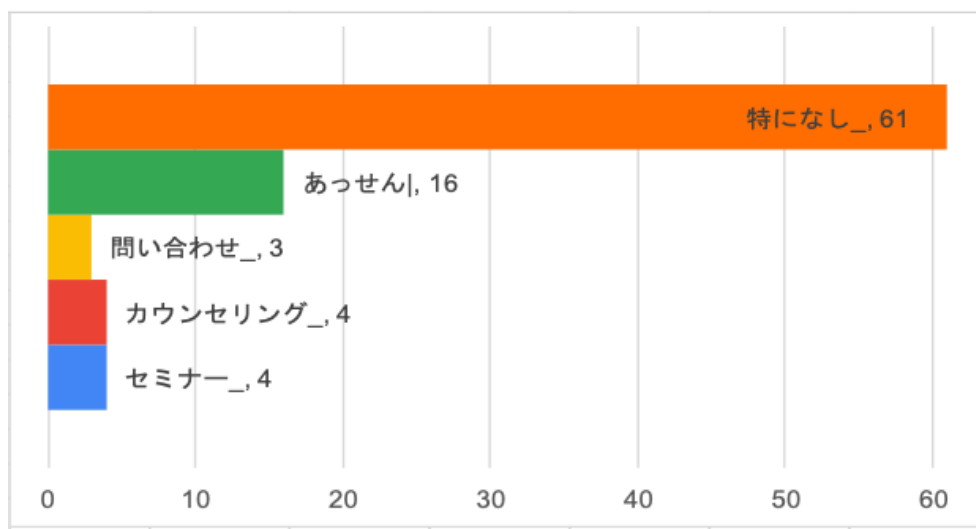
Q15 事務局の支援で良かったもの



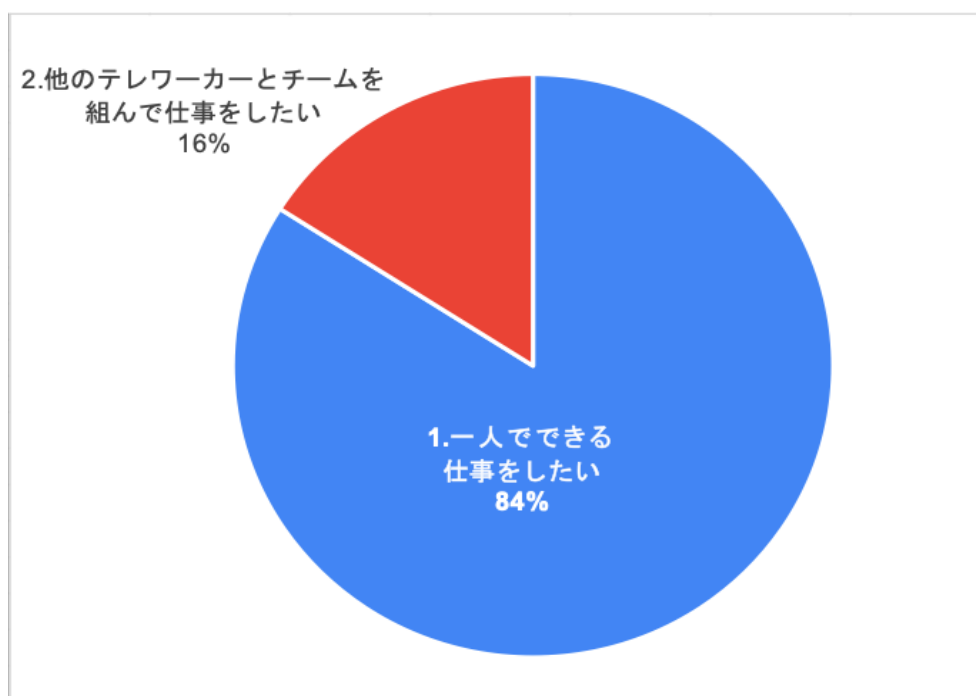
テレワークプラットフォームと関係なく、プログラミングや動画編集、Web デザイン等、個人事業主として汎用性の高いスキルを求める声も多々あった。

個人事業主創出は積極的に支援する予定であるが、プラットフォームから離れた活動が活発になった場合は、プラットフォーム自体と競合する可能性があり、且つ、事業の投資効果が不明瞭になることから、段階的な支援を実施する予定である。

Q16 事務局への要望について



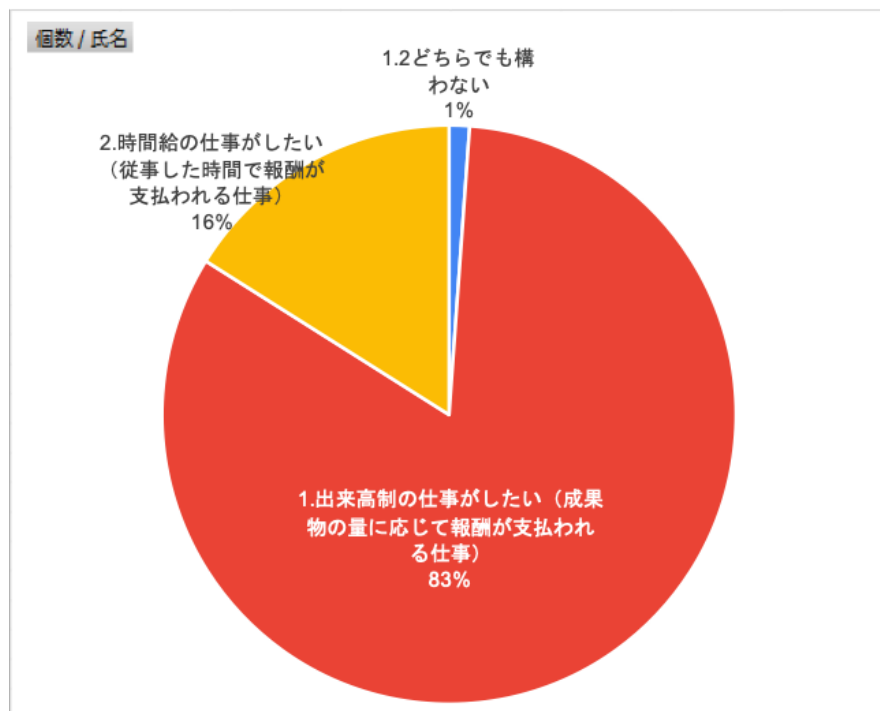
Q17 個人とチームの仕事について



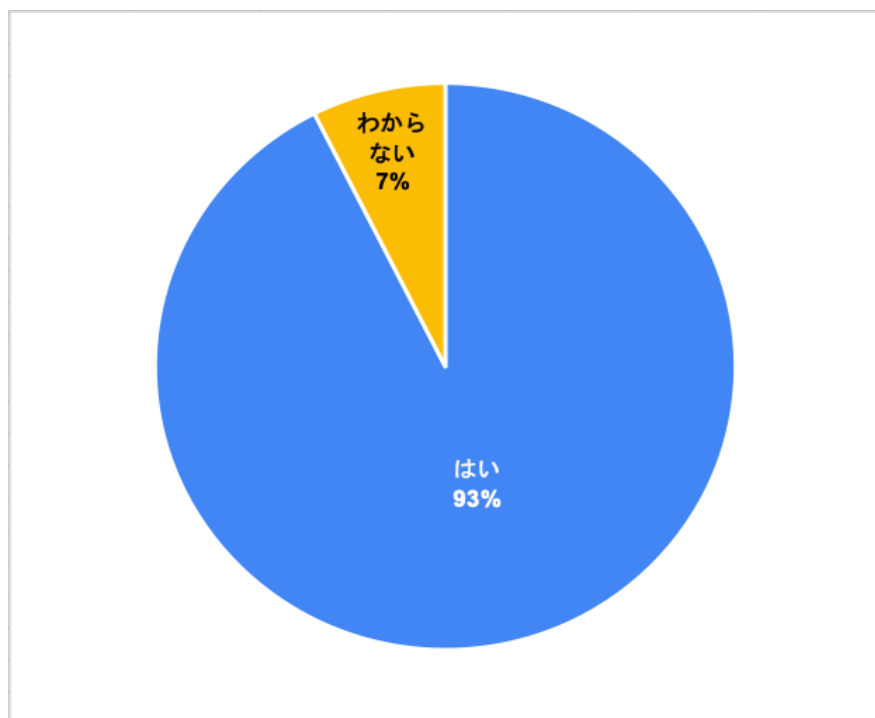
チームで対応するテレワーク業務としては、Webサイトの構築等、一定のスキルを持っているテレワーカー同士で連携して作業をするケースがある。

基本的には一人の作業だが、プロジェクト毎にチャットグループ内で活発に意見交換が交わされており、孤独感は特にないと考えられる。

Q18 希望する報酬形態



Q19 テレワークを継続したいか？



※注 Q19で「わからない」の回答者は未就業のテレワーカー

本事業に対しての意見・要望

1. 事務局対応(事務局のサポートやアンバサダー制度の評価が高い)

- ・まだ全体の事業形態もきちんとはつかめてないのですが、アンバサダーが常にアドバイスして下さるので継続出来ている。
- ・問い合わせた時の対応がいつも早くてよかったです。
- ・説明は初めて受ける方と2度目以降が混在していますが、セミナーや日常の問い合わせには初めての方に教える様に、一(イチ)から教えていただきたいです。

2. 仕事の内容(高単価、簡単、時間的な融通等求める仕事は多様だが、共通しているのは安定して仕事があること)

- ・18時以降のテレオベの仕事等あれば、気軽に参加できそうです。
- ・web関係やCADも仕事とスキルが合えばやってみたいのですが、
- ・手軽にできる内容をより充実させてほしい
- ・アノテーションのお仕事が増えていくと嬉しいです。
- ・仕事の案件が増えて選択肢が増えることを期待します。
- ・入力作業のものなど、定期的に行けるもの増やしていただきたいです
- ・毎月安定して業務があると助かります。
- ・web関係、デザイン系等単価の高いお仕事もやりたいです。
- ・仕事ができる時期とできない時期があります。自分のライフスタイルに合わせて仕事を選択できることが、ありがたいです。

3. 研修について(基本的にスキルアップ意欲は高いようである)

- ・プログラミング、WEBデザイン、動画作成などの講座
- ・スキルアップの講座は参加料もですが内容次第だと思いました。
- ・基本知識しかなかったり、プランがある場合でも対応できる研修を行ってほしい。
- ・未経験の仕事もやってみたいと思っていますので、スキルアップの研修を増やしていただけたらと思います。

4. 情報提供(仕事や研修の情報提供に改善の余地がある)

- ・仕事が出る見通しがほしい
- ・どのような研修があるか知りたい。
- ・事務局の誰がどんな仕事を担当しているか等の紹介があると、質問がある際の問い合わせ先に迷わないですむと思います。
- ・slackと平行してまとまった情報がいつでも見えるページが欲しかったです。
- ・テレワークの働き方の例や各講座をすぐ受けられるyoutubeなどの窓口があると途中参加でも入りやすいと思いました。
- ・パソコンのスキルがどのくらい求められているかがよく分からないまま登録している。自分に見合った仕事がかかわるようなアナウンスが欲しい。

5. その他

- ・レンタルパソコン(無料、有料どちらでも可)
- ・個別カウンセリングの件、今回は受けられませんが、もしまた機会があれば受けたいと思います。
- ・事務局とつながるのみにしたいです。受講者からグループの勧誘は困りました。

4-2 事業検証報告

本報告は、以下の9つの検証項目に関する検証結果を取りまとめたものである。

- ①対象離島とテレワーク就業機会の拡大
- ②テレワーカーのキャリアパスに合わせた育成
- ③テレワークに適した業務の受注
- ④ひとりひとりに合わせたサポート
- ⑤人材育成プラットフォームの確立
- ⑥繁忙期と閑散期のWワークを実現する
- ⑦沖縄型ローカルクラウドソーシングを拡大（地域経済循環率アップ）
- ⑧自走可能なビジネスモデルの構築
- ⑨業務プロセス管理の拡充

①対象離島とテレワーク就業機会の拡大

方針	有人離島全域で個人事業主や主婦等にテレワークという就業機会を提供する			
KPI1	登録テレワーカーの居住離島数(募集の対象とする離島=27)			
	令和元年度	7島	令和2年度	24島(詳細は資料1参照)
KPI2	テレワーカーの登録者数			
	令和元年度	182名	令和2年度	551名(詳細は資料1参照)
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有人離島のほぼ全域をカバーし、全国のテレワーカー率(対人口比0.36%)を上回る登録者を確保することができ、当初想定を上回る募集があった。 ○ 役場や公共の場でのポスターやチラシ等での案内が効果的であったが、地元のインフルエンサーからの紹介や、登録済みテレワーカーからの口コミも有効であった。加えてメディアからの取材による(新聞やSNSでの)露出による影響もあった。 			

②テレワーカーのキャリアパスに合わせた育成

方針	テレワーカーのキャリアパスや時代のニーズに合わせた育成メニューを提供する			
KPI	ニーズに合わせた新規メニューの追加変更			
	令和元年度	—	令和2年度	キャリアカウンセリング強化
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリアカウンセリングを強化し、テレワーカーの要望等を個別に把握し、就業機会を増やすための動機付けを行った。 ○ 登録者の典型的なキャリア志向は、従量単価制で隙間時間に行うことのできる簡単な仕事でベース収入を確保しつつ、スキルを学び高単価な仕事を徐々に増やしていきたいというもの。 ○ また、アンケートによると、希望及び実績ともにライティングやアノテーション業務へのニーズが高いが、少数ではあるもののWeb制作等の専門技術を活かした業務を希望する者もいる。 ○ 今後、運営側として、低単価ではあるが多量かつ定期的に見込める仕事と、少量であっても高単価のスポット的な仕事の両方を斡旋提供する必要がある。 			

③テレワークに適した業務の受注

方針	ITスキルやテレワーク経験にマッチした業務受注を行い。初心者からベテランまで適切に業務が割り当てられるようにする			
KPI	アクティブ率			
	令和元年度	33%(月平均37名)	令和2年度	39%(月平均108名)
評価	<p>アクティブ率は、下記の対策を強化したことにより向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アノテーション等、高スキルを要求しない仕事を増やした。 ・担当、副担当制を導入しサポートを強化した。 ・休眠者呼びかけや、キャリアカウンセリングを実施する等、業務参加を躊躇していたテレワーカーの動機付けを強化し、参加意欲を高める工夫をした。 			

④ひとりひとりに合わせたサポート

方針	テレワーカーサポートサイトと現地拠点サポーターを通じて、個々の能力と要望を把握し、育成方法や仕事の難易度・量をアドバイスを行う			
KPI1	サポートサイトへの登録者数			
	令和元年度	100%	令和2年度	100%
KPI2	相談件数			
	令和元年度	100件	令和2年度	800件以上
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登録者は、slackに全員加入しており、教室に見立てたオンライン空間において、日常的に斡旋、教育、相談を行っている。 ○ 内容は、業務に関する細かい質問が多かった。 ○ ヒアリングによると、サポートサイトを通じた問い合わせは、レスポンスもよく安心感をもって仕事に従事できるという回答が多かった。 			

⑤人材育成プラットフォームの確立

方針	各離島で研修会を実施するとともに、eラーニングで受講できる機会を提供する。また、自律的に人材育成ができるように、テレワーカーの中に指導できるリーダーを育成するとともに相互指導・支援できる体制を構築していく		
KPI	研修実施回数		
	令和元年度	主に現地研修	令和2年度 リアルタイムリモート研修は約30回 その他は動画視聴と質疑・課題提出方式で実施
評価	今年度は、コロナ禍のため現地研修は十分に行えなかったが、リモートによる研修や(いつでも視聴可能な)動画による研修を整備充実させた。この方法は「いつでも再受講できる」と評判がよく今後も継続が望まれる。		

⑥繁忙期と閑散期のWワークを実現する

方針	短時間で完結するタイプの作業を提供することにより、農業等の本業に従事しつつ閑散期の空き時間を副業として活用し、年間を通じて仕事の負荷や収入を安定させる		
KPI1	本業を持ち副業として従事しているテレワーカーの割合		
	令和元年度	90%	令和2年度 77%
KPI2	副業として従事可能な作業の受注割合		
	令和元年度	100%	令和2年度 100%
評価	受注した作業は昨年同様、短時間かつ時間的な拘束がない就業形態で副業者でも取り組みやすい内容であった。		

⑦沖縄型クラウドソーシングを拡大

方針	受注見込み先の開拓に重点をおき、テレワーカー在住の自治体と民間企業を中心に訪問・提案活動を行う			
KPI1	受注先開拓件数(新規分のみ)			
	令和元年度	約100社	令和2年度	約100社
KPI2	受注額			
	令和元年度	35万円	令和2年度	150万円(自治体案件:70万円、企業案件:80万円)
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治体: 久米島(議事録作成業務)等を受注。 ○ 民間: 国内大手BPOサービス(Ululu)との提携により在宅コールセンター、入力業務等が開始された。 			

⑧自走可能なビジネスモデルの構築

方針	補助事業終了後に自走可能となることを目指した事業運営を行う			
KPI	受注額			
	令和元年度	1.3百万円	令和2年度	8.3百万円
評価	<p>自走化のためには、さらなる売上の増加が必要であり、以下のマネジメント業務をよりいっそう強化・整備する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 営業(テレワーカーへ依頼する業務の開拓) ○ あっせん(テレワーカーへの仕事の紹介、受付) ○ 研修育成(スキル研修、モチベーション、キャリア等) ○ 進行管理(進捗、品質) ○ その他事務処理(受発注事務、支払い) 			

⑨業務プロセス管理の拡充

方針	データに基づく業務分析により、大口案件及びテレワーカー数の増加に耐えうるデジタル化に基づく業務プロセスのマネジメントを行う		
KPI	業務構想の策定		
	令和元年度	—	令和2年度 新システム構想作成
評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ データに基づく業務分析の実施(12月~2月) ○ DX化による具体案としての「新システム構想(案)」をとりまとめた ○ 多数案件を同時並行的に実施していくマルチタスク型の業務フローの確立 ○ 複数のテレワーカーが協働(チームプレー)で業務遂行していくマネジメントの仕組み確立 		